

分子模型を作る会を終えて

1999. 5. 11初 2020. 4. 30改 小樽分子模型の会 斎藤一郎
ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

入門講座で分子模型作りを体験してもらいました

今年の北海道の冬の講座は帯広で行われました。久朗津さん（帯広／啓西小）が昨年の夏から立候補して、準備を始めていました。

ちょうどその年の5月に『たの授』に板倉聖宣さん（東京／板倉研究室）が「読み書き・計算・原子模型」という文章を書いています。その他にも分子模型をもっと身近なものにしていこうという動きが増えてきたように私は思えたのでした。それで、久朗津さんには分子模型作りの講座をさせてほしいと早い時期からお願いしていたのです。

模型作りのミニ講座は1日目に設定してもらえました。初めて分子模型を作る人が8人来てくれて、自分で勝手に作っていた人も数人いました。翌日もナイターでやったら人が集まってくれそうだったので、2日目の夜も10時位から始めました。すると初めて分子模型を作る人が12人も来てくれたのでした。1千万倍の空気の模型をビーズと針金で作ったり、いろいろな分子を作る人も数人来てくれました。

入門講座の感想用紙にも分子模型のことを書いてくれた人が11人もいてとてもうれしかったのです。中には分子模型作りの感想まで書いてくれた人もいて、とってもいい気分なのです。



夜、分子模型を作りながらいろいろとだべってたのもよかったです。

(和泉浩一郎さん)

正月はいちろうさんナイター。毎年恒例にして下さい。

(坂上裕市さん)

齋藤一郎さんの分子模型づくりナイトは材料，道具，資料等々とても親切に用意されており，参加した人はみんな分子模型づくりにはまってしまったようです。2晩にわたってていねいな講座ナイトでの説明etc. ごくろうさまでした。
(杉目宏行さん)

思ったのは，体験講座であれば，これだけ人が来てくれるんだから分子模型に興味がないわけではないということでした。後は作ってもらう環境作りなんだろうな—と思いました。